

B 2 9 初級 (PC 実習あり)	<h1>科学技術文献の調査方法</h1> <h2>(医薬・化学)</h2> <p>医薬・化学分野の科学技術文献調査ノウハウとその実践</p>
講師	岡 紀子 (元 住友化学㈱)
日程	東京会場
	7月12日(金)
	大阪本会場
	2020年2月19日(水)
時間	1日間(10:00~16:00) // 昼休憩 11:45~12:45
アクセス	http://www.jpds.co.jp/company/access.html
定員	東京会場：24名 大阪会場：16名 (先着順申し込み)
受講料(税別)	20,000円
対象	特許調査担当で科学技術文献調査の初級者
内 容	
<p>研究・開発における技術情報調査では、特許文献と共に非特許文献の調査も重要ですが、非特許文献は情報源が多岐に渡ります。そのため、どこから手を付け、どのような方針で調査設定するかが容易ではありません。本講座では、科学技術文献の情報源を整理し、調査テーマに沿った検索とはどのようなものかをベテランサーチャーが分かりやすく解説。さらに、化学分野のテーマを題材に技術動向調査を体験しながら理解を深めます。</p>	
プログラム	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 科学技術文献調査の重要性 <ul style="list-style-type: none"> • 科学技術文献とは • なぜ科学技術文献を調べるのか • 特許情報との棲み分け • 化学分野の主要な情報源 2. 仮想テーマを設定、検索演習 <ul style="list-style-type: none"> • 化合物の構造情報の調査 • 化合物の規制情報の調査 • 化合物の毒性・安全性の調査 • 前半のフィードバック • 科学技術文献情報・医学薬学情報の調査 • ~J-GLOBAL、JDREAMⅢ、J-STAGE、PubMed、等 • その他 • 後半のフィードバック 	

【申込み】

当社ホームページよりお申し込みください。 URL: <http://www.jpds.co.jp/seminar/application.html>

【備考】

- 各種データベースや情報源へアクセスし実習を予定しております。(PCは当社にてご用意いたします。)
- セミナーご参加の方で事前にご質問や特に説明をお聞きになりたい内容がございましたらお申出下さい。セミナー当日に可能な限りお答えさせていただきます。

【日本弁理士会継続研修について】

本研修は、日本弁理士会の継続研修としての認定を申請中です。本研修を受講し、所定の申請をすると、外部機関研修として単位が認められる場合があります。